

全国協議会 ニュース

2010年5月1日発行
第215号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:中野勝博
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

爽やかな「春」を満喫 バイシクルライド2010に協力

4月18日、永田町のブルデンシヤルタワー前をスタート。ゴールとし、メイク・ア・ウィッチ・チャリティ「バイシクルライド2010」が開催されました。日本では珍しいこのチャリティ・ライドは今年で8回目となりました。永田町、青山、乃木坂、西麻布、広尾、竹芝橋、築地、月島、佃、永代橋、皇居バレスサイクリング、永田町と、首都東京の最先端と歴史の魅力あふれるコース。爽やかな春の陽ざしの下、普段は地下鉄や車で移動している東京の街を、自転車であらりと走ることに、普段と違った光景を眼にし、益々東京を好きになれたのではないのでしょうか。約1200名の参加者と当協議会の首都圏加盟団体からお手伝いいただいた約50名を含めた総勢約250名のボランティアにより、事故や怪我もなく無事終了し、当協議会へは約170万円の寄付をいただきました。ボランティアの皆さん、ご苦勞様



閉会式にて寄付金拝受

でした。そして本場にありがとうございました。今回初めて参加した野平理事の感想をご紹介します。

私の立哨ポイントは、永代橋を渡って少しのところ、建設中の東京スカイツリーを眺めることができる場所でした。しかも広い遊歩道だから、絶好の撮影ポイント。何組ものグループがこの場所で記念撮影をしていましたし、私も撮影依頼を受けました。このようにスロースピードで東京の景色を楽しみながら走ることが、バイシクルライドの醍醐味ですね。地下鉄ではなかなか分かりませんが、時代の変遷を写した一枚が、この日の思い出をより鮮明にしてくれればうれしな!



月島西仲通り商店街での誘導風景



西仲橋上のボランティア

全国協議会設立20周年事業 いざ、裏磐梯へ! 骨髄バンク 「20年目の同窓会」 9月に開催

今年是全国協議会設立20周年の年。種々の記念行事が予定されておりますが、9月11日には福島県が主管となり、「骨髄バンク20年目の同窓会」を開催します。場所は福島県の裏磐梯猫魔ホテル。参加対象は①骨髄バンク(民間バンクも含む)を通じて骨髄移植を受けた患者さん②骨髄バンクを通じて提供したドナーさん③骨髄バンク支援団体でボランティア活動されている方です。内容は患者さん、ドナーさん、ボランティアが一同に集い、楽しく語りながら交流するものです。また長谷川ファミリィによるコンサート、大石邦子さんのいのちの講演会

など、盛り沢山です。福島県裏磐梯地方の美しく雄大な自然と、素敵な温泉も存分にお楽しみ頂けます。ホテルを全館借り切り、10000人の方々をお迎えするつもりで準備をしております。東京からの送迎バスもチャーター運行します。5月から参加申込受付を開始いたしますので、多くの方々のご参加をお待ち申し上げております。

また翌9月12日には、骨髄移植推進財団主催の骨髄バンク推進大会が新潟県で開催される予定になっておりますので、裏磐梯経由新潟行きも合わせてご検討ください。

申込方法も含めた詳細は全国協議会HPでご案内いたします。多くの企画が実現できるように、まだまだ協賛を募っております。

●協賛金振込先 名義人 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
郵便振替口座 00150-4-15754
ゆうちょ銀行 〇一九店 当座 0015754
●「佐藤さち子患者支援基金」受付・給付状況
●ドナーサポートダイヤル受付状況
(今後の予定)
5月16日 三役会議
6月5日 設立20周年記念大会
6月6日 20周年事業 医療講演会

●協賛事項
●名義後援、承認案件
●2010年度総会関係
●20周年記念事業について
●2011年度全国大会開催場所について
●全国協議会運営の見直しについて
●総務省・地域ICT活用広域連携事業について
●事務局個人アドレスの設定について
(報告事項)
●2010バイシクルライドin東京について
●白血病患者支援基金
●「骨髄バンク推進全国大会2010」のお知らせ
※開催日と会場が決まりました。詳細については後日お知らせいたします。
開催日:平成22(2010)年9月12日(日)、会場:新潟市民プラザ(ホール)
●3月の区分別ドナー登録者数:献血ルーム/806人、献血併行型集団登録会/1,306人、集団登録会/73人、その他/97人
●骨髄バンクを介して2回提供された方(累計数)581人
●DLI(ドナーリンパ球輸注)療法の実施件数(累計数)368件
●国際協力の現状(2010年1月~3月)
(海外ドナー⇒国内患者)
移植数1件:KMPD1 累計移植数:161件
(国内ドナー⇒海外患者)
提供数3件:KMPD3 累計提供数:196件

白血病フリーダイヤル紹介ポスター完成!

全国協議会が取り組む患者支援活動の1つに「白血病フリーダイヤル」があります。

1996年7月より、患者さんやそのご家族の皆さんのための無料電話相談窓口として開設されておられ、様々な相談ごとについて電話でお話をうかがい、また、必要に応じてアドバイスを提供しております。

インターネットの普及等で、患者さんやご家族も、以前に比べると関心についての情報入手しやすくなりました。今後は溢れんばかりに氾濫気味の情報量にとまどっている方もおられます。また、インターネット時代だからこそ、電話を通してではあるけれど直に言葉を交わし、苦しさや辛さを共有しあえる人の温かさに触れたい時もあるのではないのでしょうか。

この度、ボランティアの手作りではあります。私どもの活動を紹介するポスターを制作しました。病院の窓口、病棟、薬局等に掲示しやすいよう、A4及びA3サイズとなっております。多くの患者さんに知っていただけたら幸いです。全国協議会事務局までご連絡ください。

白血病患者支援基金
0120-81-5929
(やまいこへく)

20周年事業協賛金
(3/21~4/20)
京野アートクリニック 100,000円
徳友会市村歯科クリニック 20,000円
市川園十郎事務所 60,000円
美濃加茂青年会議所 20,000円
西那須野ライオンズクラブ 20,000円
㈱THINKフィットネス 20,000円
㈱タクトコーポレーション 20,000円
斎藤佳子 3,000円
森山久 3,000円
中熊千香 3,000円
小幡香菜 6,000円
三品雅義 12,000円
(敬称略)

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●財団の契約職員数が“0”に
多数おられた財団の契約職員の方々(平成19年4月で55人)について、判例等を参考に、各人が入職から3年間経過すると正職員に登用する施策を進めてきましたが、本年4月をもって全て正職員に移行されました。なお、この他に新たにコーディネーションスタッフ制度が開始し、また、主な新規施策としても昨年度のHLA-C座検査導入に続き、末梢血幹細胞移植事業が導入される等、本年度は財団にとってこれまでの成果が生きていくエポックとなる年度となっております。

●平成21年度の移植数、ドナー登録者数等について
平成21年度の移植数は1,232件でした。これは昨年度の1,118件を114件上回り、過去最高の件数となりました。1,232件の内訳を見ると、[国内ドナー⇒国内患者]が1,214件、海外バンクを介した[海外ドナー⇒国内患者]が5件、[国内ドナー⇒海外患者]が13件となっております。3月の移植件数も128件で過去最高でした。また、コーディネイト開始件数(国内ドナー⇒国内患者)についても前年比1,120件増の22,123件となりました。

●平成21年度末のドナー登録者数は357,378人(3月末現在)で、前年度末と比べ22,326人の増加となりました。しかし、新規ドナー登録者数は33,859人で、前年度(37,826人)と比べ3,967人の減少となりました。新規ドナー登録者数を登録窓口別に比較すると、献血併行型登録会では前年度より4,022人増加しましたが、日赤固定窓口(献血ルーム等)が6,369人減少しました。平成20年度にACキャンペーンが中止となったことにより、マスコミ媒体でのCM

◆日本骨髄バンクの現状(平成22年3月末現在)

	2月	3月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,297	2,282	357,378	459,197
患者登録者数	173	246	2,559	29,874
骨髄移植例数	87	128	-	11,587
20歳未満ドナー登録者	-	107	11,837 ¹⁾	-
51歳以上ドナー	283 ²⁾	79 ³⁾	18,085 ⁴⁾	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*1) 17年3月~ *2) 51歳以上ドナーの延長数 *3) 51歳以上ドナーの新規登録数
*4) 17年9月~

骨髄バンク NOW

(財団マンスリー JMDP (4月15日発行)より抜粋)

等が大きく減少した影響と思われます。一方、献血併行型登録会を都道府県別に見ると、秋田県、栃木県、福岡県、沖縄県で登録者の増加が目立ちます。これらの県では、沖縄県で国の緊急雇用対策が活用された他、自治体や日本赤十字社のご協力を得て、登録者数を大きく伸ばしました。

平成21年度は新たに2,624人(国内:2,018人、海外:606人)の方が患者登録をされました。特に国内の患者さんでは、年齢層が高くなるほど登録者数の増加率が高くなる傾向が見られました。

●PBSCT答申について
非血縁者間末梢血幹細胞移植(以下、非血縁者間PBSCT)導入に向けて、昨年7月に理事長の諮問を受け「PBSCTに関する委員会」を発足し、これまで8回の会議を開催してきました。本年2月をもって基本方針についての審議が終了し、中間答申書をまとめました。3月31日の理事会において答申がなされました。財団のホームページにもアップされますのでご覧ください。今後は、国の審議会における正式決定後、財団として導入決定がなされる方向です。正式決定された場合、本年10月頃から一定条件のもと限定的に実施できるよう準備を進めています。

●「骨髄バンク推進全国大会2010」のお知らせ
※開催日と会場が決まりました。詳細については後日お知らせいたします。
開催日:平成22(2010)年9月12日(日)、会場:新潟市民プラザ(ホール)

●3月の区分別ドナー登録者数:献血ルーム/806人、献血併行型集団登録会/1,306人、集団登録会/73人、その他/97人
●骨髄バンクを介して2回提供された方(累計数)581人
●DLI(ドナーリンパ球輸注)療法の実施件数(累計数)368件
●国際協力の現状(2010年1月~3月)
(海外ドナー⇒国内患者)
移植数1件:KMPD1 累計移植数:161件
(国内ドナー⇒海外患者)
提供数3件:KMPD3 累計提供数:196件

心からのご寄付に 感謝申し上げます

3月21日~4月20日

㈱タクトコーポレーション	現金	10,000円
エグゼキューブ㈱	現金	1,750円
名古屋市立八幡中学校生徒会	現金	25,396円
塩谷泰人	現金	1,000円
山田康博	現金	9,880円
中村真由美	現金	10,000円
岩手県骨髄バンク推進協議会	現金	5,000円
㈱フューチャーマザー	現金	20,000,000円
加藤修	現金	80,000,000円
匿名	現金	5,000円
斎藤佳子	切手	22,912円
日新火災海上保険㈱経営企画部・広報グループ	切手	8,314円

●白血病患者支援基金

カンセキ㈱西川田店	現金	9,234円
イオンリテール㈱イオンマリニピア専門館	現金	7,167円
ケンコウ調剤薬局	現金	11,687円

●佐藤さち子患者支援基金

骨髄バンク患者支援の会	現金	333,900円
笠原慶一	現金	60,000円
平岡紗千依	現金	3,000円
匿名	現金	10,000円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会



各地のたより

各地のたよりを 写真を添えて お寄せください。

沖縄 要望書(署名用紙)を 知事へ提出

「沖縄県骨髄バンクを支援する会」と「がんの子供を守る会沖縄支部」が集めた55,760人の署名「沖縄県内で骨髄バンク認定施設取得を求める要望書」を3月18日沖縄県庁知事公室にて仲井眞弘多知事に手渡ししました。会見には福祉保健部長や県病院事業局長等も同席し、県内で骨髄バンクを介した移植が困難になっている現状については認識してもらいました。ただし、県として県立病院の骨髄バンク認定施設に向けて取り組み考えはなく、大学病院との連携で解決を図りたいとの回答で辞めたために移植が中断している琉球大学附属病院では、骨髄移植センターを立ち上げるための準備が進んでおり、近く、県内での骨髄バンクを介した採取・移植が再開することを期待しています。会見にはマスコミも多数参加し、夜の地元テレビニュース、翌日の新聞に記事が載りました。署名に協力いた



いた県内外の多くの皆さまにお礼を兼ねて報告いたします。(上江洲富夫)

埼玉 武甲山の山麓の町で PR活動

4月3日と4日の二日間、秩父の武甲山の山麓にある横瀬町で「カタクリまつり」が開催され、会場となった「山の花道」でPR活動を行いました。

活動内容は、来場者に埼玉連絡会のリーフレットと「命のアサガオ」の種を配布しながら、ドナー登録を呼びかけるものですが、アサガオの種の謂われや秩父市役所で緑のカーテンに採用された事の説明に、多くの方



が興味を示され、喜んで持ち帰られました。また、ボーイスカウトの指導者の方から「私もドナー登録しているよ。頑張つてね。」と声をかけて頂き、励まされました。秩父地域では活動する会員が少なく、一人でやることが多いのですが、これからは頑張つていきたいと思えます。(山中) [編集部から]

記事とともに、活動の様子を伝える写真の提供をお願いしたところ、そのものズバリ、「カタクリの花」のプリントが届きました。編集委員一同「うーん」と唸ってしまったのですが、その中から一枚を選んで掲載しました。記事と画像のこういうコラボも「あり」だと思つ次第です。なお、オリジナルプリントは、おそらく誰もが目を見張るであろう、それはそれは素晴らしい画像です。カラーで掲載できないのが本当に残念でなりません。

神奈川 桜の円覚寺で ピアノ三重奏の夕べ

4月3日、桜満開予想日のまさにその日、うらかな鎌倉の円覚寺で第19回骨髄バンクチャリティコンサートピアノ三重奏の夕べが開催されました。三戸素子さん、小澤洋介さん、ティム・レーベンスクロフトさんの新編成になって3回目、プログラムもヴァイオリンとピアノ、チェロとピアノ、ピアノ三重奏と変化に富み、荘厳な方丈で300人を超す来場者が豊かなひとときを過ごしました。

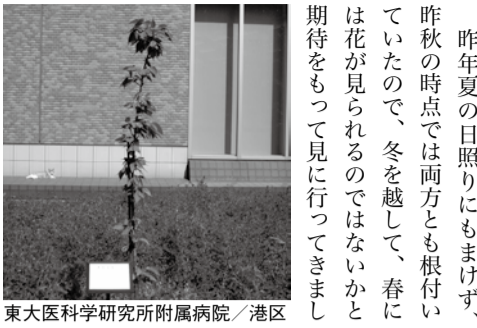


ちなみに、カタクリの花言葉をいくつかあげると、「初恋」「情熱」です。

元気ですか?おひがしなサクラ

●東京の会

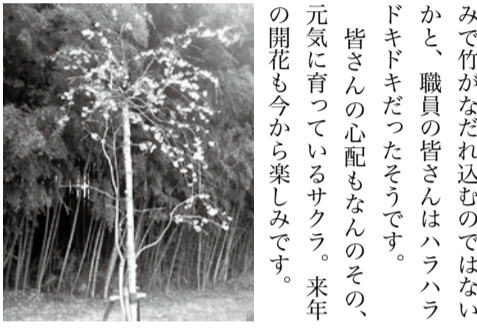
昨年春、全国一斉骨髄移植1万例・さい帯血移植5千例達成記念植樹に参加し、聖路加病院小児病棟前緑地と東大医科学研究所附属病院横の緑地に八重桜の福祿寿を各一本植樹させていただきました。



東大医科学研究所附属病院/港区

●福島の会

暖かい地方での地域団体では今春開花したところもあるのではないかと想像していますが、いかがでしょうか。花の便りが楽しみです。(新田)



施設のパンダハウスに植樹しました。職員の皆さんが気に掛けて熱心に水やりを行ってくださったおかげで、見事に開花しました。ところが花が咲いた4月になってから、二十数年ぶりの雪が...。サクラが植樹された背後が竹林のこともあり、雪の重みで竹がなだれ込むのではないかと、職員の皆さんはハラハラドキドキだったそうです。皆さんの心配もなんのその、元気に育っているサクラ。来年の開花も今から楽しみです。

ボランティアの仲間たち

リレー紹介

千葉 國分章さんの巻

私が骨髄バンクの活動に参加させて頂くようになったのは、4年前名古屋に居た時です。本格的にマラソンを始めたのもその頃で、たすきを掛けて走るのには、名古屋シティマラソンでの3年連続以来、久しぶりの事でした。

当日は途中みぞれまじりの悪天候でしたが、治道の方々より「骨髄バンク頑張れ!」「私も協力します!」などたくさんの方の声を頂戴し、また私に、たすきを掛けて走っている方3人にお会いする事も出来まして、本当に嬉しかったです。このたすきを掛けて走るという事の重み、マラソンで骨髄バンクをPRするという事、自身自身の事など、いろいろな事



東京マラソン2010のゼッケンと参加賞のバスタオル。バンクPRのたすき

群馬 BCリーグ開幕式での 啓発活動

群馬県高崎市にある城南球場で、プロ野球BCリーグが4月3日開幕しました。本リーグの特別協賛をされているブルデンシャル社高崎支社より、お声をかけていただき、来場者の方に向けて、骨髄バンク啓発活動を行うことになりました。



来年は20回を迎えますが、司会の坪郷佳英子さんからアンケートにリクエストをお書き下さいという呼びかけがあり、たくさんの方の希望をいただきました。全国の皆さん、来春のコンサートには是非お運び下さい。(阿部)



3月25日、自衛隊中央病院(東京都世田谷区)において「生きるとしてシアワセ」と題し、女優の東ちづるさんと大谷会長の講演会が行われました。自衛隊病院ということで制服姿の看護学生や職員、医師や看護師の皆さんが参加されました。

講演は、骨髄バンクに関わったきっかけに始まり、今回は医療従事者の皆さんの前ということで、現在の医療への不満や治療法、ドクターハラスメント、そして今後の医療のあり方についてお二人の体験談を交えて語られ、会場の皆さんもそれに応えるかのように真剣な眼差しでお二人の講演に耳を傾けていました。



特に印象に残ったのは「医療現場での本当のホスピタリティとは何か」という話です。医師と患者が対等な関係でなければ良い治療とは言えないと思う、

医師はモニターに向かって会話するのはなく、きちんと患者と向き合うこと、医師の患者への何気ない声かけ一つが医療現場でのホスピタリティであると、お二人は強く語っておられました。参加された皆さんの心にもきっとお二人の言葉が響いたことと信じています。(戸塚)

新潟 一周年記念事業 ハートフルな7ヶ月展を開催

昨年12月、「骨髄バンク命のアサガオにいがた」の発足から一周年を迎えることができました。そこで、一周年記念事業を平成22年4月10日(土)18日(日)9日間行なうことを決め、イオン新潟南ショッピングセンター マリノコート(新潟市)でパネル展・ドナー登録会・チャリティイライプなどを実施しました。チラシ配りのボランティアさんを募ったところ、中学生49名・専門学校生28名・一般の方13名の計90名の協力を得ることが出来、23か所の出入口に立つて元気にチラシを配ってくれました。お陰で73名のドナー登録者がいらつしやいました。こんなにたくさんの方の登録者がいて本当にびっくりしました。今後、定期的にドナー登録会を開催出来るように検討をしていきたいと思つています。(高野)